

雷対策についてのお願い

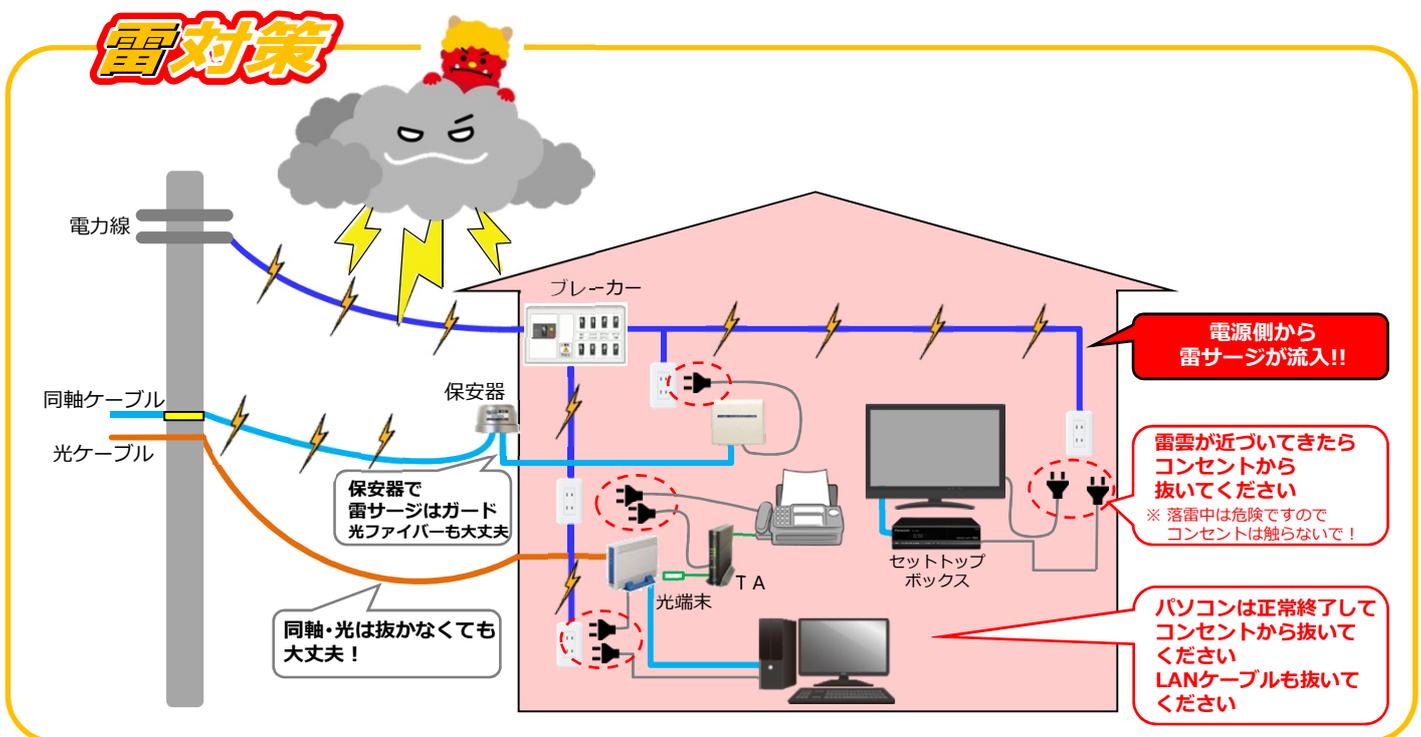
落雷のシーズンを迎え、落雷による被害の対策についてご案内します。

落雷が起きると、電力線などを伝わり、宅内に過大な電流が流れてくることで、KCN京都のケーブルモデム・ONU（光端末装置）などのインターネット接続用機器、光電話などの電話用機器やお客様所有の機器類が故障する恐れがあります。

雷による被害は、**直撃雷** と **雷サージ** によるものに分かれます。

- 直撃雷** … 名前の通り、雷が直撃することを言います。雷の電圧は200万～10億ボルトと言われており、そんな大電圧が電線などから侵入すると、繋がっている機器は、ほぼ間違いなく壊れます。
- 雷サージ** … 近くに落雷した時や雷雲が近づいた時に電磁界が乱され、近くに敷設されている電線などに誘導電流が発生し、接続された機器に障害を及ぼします。雷でパソコンなどが壊れる原因のほとんどが、雷サージによるものです。（地面を伝わってアース線から誘導されるサージもあります）

これらの被害から家電製品を守るため、以下の落雷対策を参考情報としてご活用ください。
※下記対策は雷の被害を100%回避することを保証するものではありませんのであらかじめご了承ください。



事前の対策

- 雷は予期せず発生する為、すぐに対処できない場合や、落雷時に不在の場合も考えられます。機器の故障を防ぐ為に事前に落雷対策をとっていただくことをおすすめ致します。
- 例えば、市販の雷対策機能付電源タップ（雷ガード、サージプロテクタ）などは、落雷時の過電流による機器故障の可能性を低くする事ができる為、このような製品を用いることが有効な対策の1つです。
- 雷対策機能付電源タップ等の詳細につきましては、販売店や販売メーカーにお問い合わせください。

近くで雷が鳴り始めたら

- KCN京都のインターネット接続用機器、光電話などの電話用機器やPCの電源ケーブルをコンセントから抜く。
- インターネット接続用機器、電話用機器に接続されているLANケーブル、電話線（モジュラーケーブル）を抜く。
※電源ケーブルやLANケーブル、電話線を抜く方法は、雷による過電流を物理的に遮断するので最も効果的です。

但し、インターネット接続用機器、電話用機器の電源をコンセントから抜いている場合や電話線、LANケーブルを抜いている場合はインターネットサービス、電話サービスはご利用になれませんのでご注意ください。



同軸ケーブルは保安器で守られていますので、CATV線からの雷被害はほとんどありません
光ファイバーはガラスで出来ているので電気を通しません